

「先人から次世代へつなぐ」
わがまちの

歴史再発見



伊自良



山県市図書館付近にある石碑

八田知家という人物を聞いたことがあるでしょうか。八田知家は13人の合議制の1人です。知家は、^{しもつけのくに}下野国を拠点とした武士団、宇都宮氏の出身であると言われていますが、源義朝の第十男という説もあります。

『伊自良誌』には、知家は鎌倉幕府創設の功臣であり、伊自良荘の地頭職に任ぜられ、伊自良より妻をめとったと記されています。

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK)の放送が始まって半年がたちました。舞台は鎌倉ですが、わがまち山県市にも少しゆかりがあります。今回は特別編と題して、そのつながりを再発見していきます。

岡生涯学習課文化財調査室 TEL 32-90008



現在の松尾神社

承久の乱と

山県市

承久の乱とは、北条義時(鎌倉幕府2代目執権)に対して、後鳥羽上皇が挙兵した戦いです。戦いは、後鳥羽上皇の敗北に終わり、上皇は隠岐に流罪となりました。

八田知家の子である^{ありとも}有知は、この戦いで関東方(義時側)に味方して武功を立て、その賞として伊自良の地を賜ったと言われています。その後有知は伊自良に城を築き、伊自良氏を名乗ったと伝えられています。伊自良城の場所については、松尾神社の跡地が候補地とされていますが、資料がなく、定かではありません。

また、^{へんみよしげ}逸見義重という人物もこの戦いで関東方に味方して武功をあげ、大桑の地を賜ったと伝えられています。岐阜県も戦いの舞台となった承久の乱によって、鎌倉幕府による支配はより強固なものとなりました。

伊自良の地を賜った伊自良有知の父である八田知家と、日本の歴史に名を遺す承久の乱。市内の各所で鎌倉時代に生きた偉人たちに思いをはせてみてはいかがでしょうか。

【用語解説】

13人の合議制 鎌倉幕府2代将軍源頼家の時に発足。有力御家人13人の合議にて訴訟などの裁断を行うこと。
下野国 現在の栃木県あたり。

地頭 鎌倉幕府によって設置された役職。その土地の管理および支配を行う。